

# 第 1 回会議委員意見

---

# 第1回会議委員意見

区分	委員意見	対応方針
宿泊税に関する意見	これまで宿泊税を充当して実施してきた施策の成果を検証できるよう取りまとめておくこと	資料2にて対応 －資料2：「宿泊税充当事業の効果検証」
	宿泊税の使い道（今後の行政需要）について、次回の会議で提示できるようにすること	資料3にて対応 －資料3：「今後の宿泊税充当事業（行政需要）の事業規模イメージ」
	宿泊税収の基金化を検討してはどうか	第3回以降の会議で対応
新たな財源に関する意見	なぜ外国人にのみ負担を求める必要があるのかなど、必要性や目的、用途など制度の根幹から検討が必要	資料5にて対応 －資料5：「外国人旅行者の増加に伴い発生する課題への対応およびその財源について」
	海外の参考となる事例について、コンサルなどに委託し専門的調査を行うべき。	資料6にて対応 －資料6：「新たな財源確保のための海外先行事例の調査について」
	整理すべき論点が多く、宿泊税の在り方議論とは時間軸を別にして、しっかり時間をかけて検討していくべき	委員意見を踏まえ議題を分けて検討
共通	特別徴収義務者（宿泊施設事業者等）の事務コストや経営負担が生じないような制度となるよう、事業者からヒアリングを行うこと	第3回以降の会議で対応